



給食だより

4月号



2019年4月1日発行
田園調布学園大学
みらいこども園
栄養士 中嶋なおみ



給食を楽しい時間に...



みらいこども園に在園している子どもたちは、0歳児から5歳児です。その時期は食べる基本を身につける大切なときです。噛んで飲み込む基本的なことから食具を使って自分で食べることに、食具も手からスプーン、箸へと変化していきます。その成長は、毎日の食事の積み重ねによって進んでいきます。

また、食べ物に興味を持ち、食べることの楽しさを感じて過ごすことも重要なことです。みらいこども園では、食べることの基本を身につけると同時に、食べることを楽しむ心も育てていきたいと思っています。給食の時間が楽しみになるように今年度も過ごしていきたいと思っています。



みらいこども園の給食は...

- ・季節を感じられるように旬の食材を多く取り入れるようにしています。旬の食材は、その時期に何度も登場します。その食材のおいしさをたくさん感じてほしいからです。
- ・噛み応えのあるもの(乾物や豆類、海藻、じゃこなど)を取り入れて噛む力を育てていきます。歯が生え揃い、噛む力を育てる時期です。毎日の給食でも「噛む」ことを意識できるように声をかけています。



かしわもち

5月7日に子どもの日の行事献立で柏餅を食べます。1歳児クラスから食べる予定ですので、経験のない方は、ご家庭で試してみてください



サンプルケースとレシピ

1階玄関に、その日の給食の見本が置いてあります。乳児は2歳児、幼児は5歳児の給食です。量や形状など参考にさせていただければと思います。また、気になる献立はリクエスト頂ければ、レシピもお出しします。サンプルケースの横にありますのでお持ちください。